

農林振興課 農政係 (501)

大崎町農業研修館の解体工事に伴う備品について

農林振興課では今年度、大崎町農業研修館の老朽化に伴い解体工事を実施いたしますが、工事に伴い農業研修館内にあります備品(コップ・椅子など)をリユースできる団体に譲渡する計画です。ご興味のある団体は下記期間に内覧及びお申し込みください。

内覧及び 申込期間	令和6年9月7日(土)・8日(日) 9時～16時
内覧場所	大崎町農業研修館(大崎町仮宿1870番地)
注意事項	<p>※内覧及び申し込みできる方は団体(自治公民館・公民分館など)に限ります。</p> <p>※申し込みが多い備品については抽選となります。</p> <p>※備品については現状引き渡しとなります。</p> <p>※取り外し及び持ち運び等は指定期日までに各自で行ってください。</p> <p>※電化製品については、令和6年4月以降通電していませんので、使用できるかは不明です。</p>

農林振興課 農政係 (501～503)

大崎町のお米の美味しさの証明に挑戦!

大崎町はコシヒカリをはじめとする主食用米が約300ha作付けされており、県内有数の早期水稻の生産地となっていますが、これまで「大崎町のお米の美味しさ」を客観的に評価する機会がなく、PR力などが不足していました。

このことから、大崎町では令和6年度から町内の複数の水稻農家の協力を得ながら、「大崎町のお米」に客観的評価をもらうために「食味コンクール」に挑戦する準備を進めています。

ご協力いただいている水稻農家においては、猛暑の中、大崎町のお米の美味しさを証明するための努力を続けています。

今後、秋に開催される食味コンクール出品に向け、収穫までの作業を続けていくこととなりますが、ご協力いただく水稻農家の努力が報われ、高い評価が得られることを期待しています。



追肥作業の様子

! 食味コンクールとは

各生産地から出品されたお米を機械分析や食味鑑定士の審査により、香りや味、ねばりなどを概ね5段階で評価され、高い評価が得られた場合は、その評価が公表されることから、お米の価値づくりにつながることが期待されます。